

波 紋

三十周年記念 パーティー



恒例になった家族パーティー会う度に子供さん達は、どんどん成長されており、それを見るのも楽しみの一つになっていきます。
今回も若手グループが楽しい企画をくみパーティーも、しっかり盛り上がりまして、次回会うのを楽しみにしています。



父 圭 左 占 三

「病氣」

楽しい家族会が終わわり、自宅に帰ったら熱がある。三八・七度。ここ15年程病氣らしい事をやった事がないので少々びっくり、氷のうを買いに行く。見ると回生アイスパックとある。弊社仕入先O社の製品である。又、原因が分らないから、「家庭の医療相談」応急手当と家庭看護の本を読む。出版は取引先のS社発刊の本でした。病名はたぶん「扁桃炎」。病氣になっても我社の取引先が付いてくれているとは、心強い限りです。部屋をしめきり、タオルケット2枚、掛ふとん2枚、夏のガマン大会そのもので、汗をしっかりと出した。
娘が大活躍で、かたくり粉、おかゆを作って、食べさせてくれた。汗を出したら熱も下がりがり方に腹がへって眼をさました。
しかしミドル対ヤングの野球試合日までなんとしても病氣になれない。なにせ、部員が9人しかいないのだから。
森 信之

「フォーシーズンズ」

このコーナーのタイトルが「フォーシーズンズ」という事です。メンバーをみるとイメー
ジじゃないんですね。「四面楚歌」とか、「
「四角四面」とか「四捨五入」とか・・・
「フォーリーブス」というのもすてがたいで
すね。「少年隊」でもいいかな、などと意味
不明な事を書いてると行数がだいぶまる
んですよ。

「働きすぎず人並みに、ゆとりをもってお
だやかに」すばらしい言葉だと思いますか
こういう生活が出来たら、長生きできるでし
ょうね。

これは今年の新人社員の意識調査から出来た
言葉だそうです。

「新人類（あまり好きな言葉ではないが）
は苦労というものをしたがない」と旧人類
が言います。

「苦労は買ってでもしろ」と言いますが、誰
が買ってまで苦労しますか。

苦労なんてものは出来るだけしたくないのは
新旧の人々皆同じだと思います。

だけど苦労は向こうから近寄って来るのです。
しかたなく苦労をします。

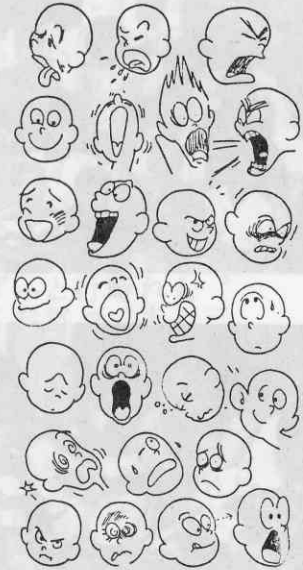
いつか楽しい日が来るといふ夢をもちながら
一生懸命次々と来る苦労にたえていきます。

ひとつ言えるのは、今は昔ほど苦労がやって
来る数が少ないのです。

それはその分夢の数も減ってしまったという
事です。悲しい話です。

旧人類が苦労を沢山しすぎて数が、減ってし
まったんじゃないですかね。悲しい話です。

牧野光昌



新課長としての抱負

抱負

抱負を書かなければと、考えれば
考える程頭の中がモァーとなってい
まいます。

抱負というよりも、まだまだ課長と
して器になっていない！と考えてし
まいます。

何か困難な事があれば眉間にシワが
入り、体力が無くなってくれば集中
力がなくなり、落ち込んでしまいま
す。

もっと心豊に仕事をしなければ駄目
なんだと思っています。

上司に余裕がなければ部下の人が、
かわいそうです。余裕の無い指示・
アドバイスは聞いていても殆どが、
無くなってしまいます。ほんとうに
むつかしいです。

むつかしいと言っている、会社は
進みません。余裕なくつい怒ること
があると思えますが、一課の孫田君
吉岡君よろしく。

光田昭男

社員研修旅行のお知らせ

森松（株）創立30周年記念研修旅行を、
アキレスさんの足利工場見学ということで、
9月14日をお休みとさせて頂いたきます。
社員とパートの方全員で、訪問することに、
決定をしました。貴重な一日を費やすので、
皆さんしっかり勉強をしてきて下さい。
ビニール原反を販売している会社で社員そ
してパートの方が、ビニールを作っている
ところを見たことが無いというのでは、お客様
の対応に遅れると思っております。お客様
私は何回も行っていますが、必ず毎回ひとつ
は得るものをつかんで来ます。
ビニールだけでなく、靴とかウレタン等を
作っているところも見せていただけると思
いますので楽しみにして下さい。
又、営業及びアシスタントの人は、9月14日
お休みさせて頂く事を、くれぐれもお客様に
伝える様に充分心がけ実行してください。
尚9月12日（土）は休みとなっておりますが
振り替えまして平常通り営業とすることも合
わせて伝えて下さい。

木村英利



「野鴨の行徳先生来る」を観て

今、物が豊かで恵まれていてる社会の中で、何不自由無く生きていけると人間生きる事への喜びや感動する事さえも、忘れる様な気がします。

人に對して、又自然に對して自分自身の心の中に、いつも暖かい思いやりの気持ちを持ち接していかなければ、決して相手に通じる事は無いし当然相手からも真心は返って来ません。

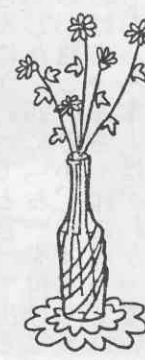
「黒川医師」と云うガン病棟の先生が「カイロ先生」と患者さんに呼ばれていそうです。何故「カイロ先生」と呼ばれているのか皆さん御存知ですか？

いつもポケットにカイロを入れ、自らの手を暖めてから患者を診察されるそうです。

それが患者に對するせめてもの、自分自身に出来る思いやりだそうです。「心細い患者の身体に自分の冷たい手で検診したら、それこそ患者に對して、生きる希望も夢も無くしてしまふような気がするから」と、この話を聞き感動を覚えずにはいられませんでした。

「雪が溶けたら水になる」「雪が溶けたら春が来る」私も後者を選べる人間でありたいと思います。

田井村俊秋



始めは、どんな話なのかピンと来ませんでした。話の中で最近、感動する心が減って来ていると言われ確かにそういう面があると思いましたが、何しろ、世の中が平和すぎて何不自由なく生活出来、頭でしか物を見ようとしないう人が増えて来るとどうなってしまうのか？

野鴨は、遠く翔ぶことの出来る鳥ですが、おいしいエサと美しい景色につられその場所に住みつきとうとう遠くへ翔べなくなってしまうました。これを人に置き換えるとうなってしまうと思いませんか？

野鴨先生が感動する心ともう一つ「うず気」ということを大切にしないで欲しいと話されてきました。「ドキドキする心」で相手をどれだけワクワクさせることが出来るかという事です。

「てんびんの歌」を観て

この物語は、商売をする上で一番大切な事は何かと言う事がテーマになっていきます。

商売とは、先ず売り手が在り、買い手が在る。そこには求める物と求められる物が有り、商売が成り立つ。それが商売の原則のように思っていました。しかしこの物語を観て、最も感じた事は、売り手にも心があり、買い手にも心があると言う事です。そしてその心こそが最も商売には大切な事だといっていました。

決して商品価値の高いわけでも無い鍋蓋を、なぜ最後に少年は売る事が出来たのでしょうか？

それはただ物を売ると言う事では無く鍋蓋を通じて、人の心を知ったのだと思います。そして人がその少年の心を知り、始めて買い手となったのです。

商売とは単に物の移動ではなく、人と人との心の交流が実を結ぶのだと教えられました。この物語は商売に最も大切な事を教えると同時に、人を思いやる心の大切さを、教えてくれたとおもいます。

成瀬勝英



商売というものを、原点から見つめ、一つの商品を売り、そして人の手に渡る。

つまり「商売」とは！を勉強しました。

登場してくる少年は、何も知らない白紙の状態、行商に出された。彼は、相手つまり買い手の気持ちを考えずに、ただ売れば良いと売れないので知り合い、親類をあてにし押し売りの様な行商していた彼が、商品を愛し思いやった気持ちを、持って初めて、商売が成り立った時は、私も感動しました。

商売とは、売り手と買い手が一つにならなくては成り立たない、という事を痛切に感じました。買い手側、つまりお客様が必要とする物は必要とし、必要でない物は必要としない。商売とは、同情や恩で成り立つものではないと、一番大切な事は、売り手側が常に商品を愛し、買い手側の気持ちを考えて、真心と真剣な気持ちで感じ取りました。

伊藤ちはる



今月の社内行事

九月 一日 中堅幹部会議
午前七時半より

六日 中堅 対 若手 野球大会
午後1時〜午後4時半
【丹後公園にて】

十一日 拓販会議
午後3時より
三課長会議
午後5時より

十九日 モーニングスクール
午前7時半より
拓販会議
午後3時より
三課長会議
午後4時半より

二二日 実績会議
午後7時より

二六日 製造・配送会議
午後3時より

二七日 野球
午後1時〜午後4時半
【道徳公園にて】



♡我が家の事件簿♡
「子供を持つってみて」

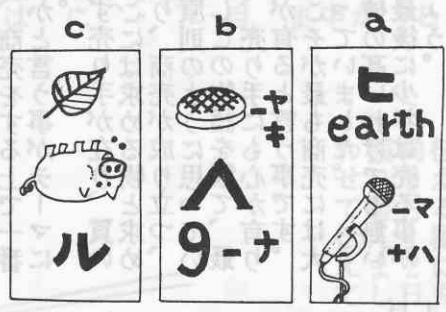
長男の範晃は、一歳八ヶ月。三語文が話せる様になり毎日おもしろい事を言って、笑わせてくれます。朝主人が会社に出かける時、「とうたん（お父さんの事）行ってらっしゃいネ！バイバイ」と言って送り出し、帰って来ると「お帰り」と言って頭を深々と下げて出迎えます。帰りが遅いと「とおたん遅いネー」と言います。朝出て行ったばかりなのに「とうたん遅いネー」と言っているのです。あやっぱりわかっていると思いがながらおかしくて笑っているのと、一緒になって範晃も声を出して笑っています。

電話に出るのが大好きで、朝私の妹から電話が有りました。まっ先に彼が出ました。

「もしもし今晩わ、ばあちゃん」と言っているのです。ちょっとお母さんにかわってと言ってお母さんでした。頭に「お」を付けて話すのが難しいのか、おばあちゃんもおぼちゃんも一緒になっています。もちろん本人は、わかっているんです。しょうけど。

子供を育てると言う事は本当に大変な事だと痛感しました。私も母に「あなたも子供を育ててみると良くわかるわ」と言われた事を、思い出しました。

※クイズコーナー※



? 絵入り文字パズル?
ヒントはなしです。

「子供を持つって知る親の恩」本当にその通りだと思いました。どんな事でも、自分がその場に立って体験してみないとわからないものです。とにかく健康です。元気な子に育ってもらいたいと思います。近所の子、友人の子と比べると言葉も早いし、歌も歌えるし、この子はきつと天才だと夫婦揃ってとんでもない勘違いをしている親バカぶりです。成瀬文子

締め切りは9月15日
抽選で3名様に豪華景品を差し上げます。
多数ご応募お待ちしております。

編集発行者
森松株式会社
発行責任者
橋本正子
昭和62年9月1日
第27号

恒編集巻後記
ことその他厳しかった夏もようやく終盤、小さな秋をそこここに、見つける事が出来ます。本格的な秋に向かって、消耗した体力回復に励んで下さい。

さて今月号から「一方通行」に替わって「フォーシーズン」のタイトルで四人のユニークな個性集団が交代で担当します。どんな内容展開になるか予測が付きませんが、どうぞ御愛読お願いします。

第一回は牧野課長、さすがシャープな文。
どうぞ次回をお楽しみに！
橋本正子